



作品タイトル： オムライス好きのお皿の子

《付喪神の元となった実物写真》



デザイン題材： オレンジ色の皿

《そのものへの想いを込めたデザインコンセプト》

この絵のモチーフにしたお皿は私が幼少期の頃からずっとあり、そのお皿でたくさんの料理を食べました。なかでも、私の好きなオムライスを食べる時はこのお皿を使うことが多かったです。一人暮らしをするようになった今でもそのお皿でオムライスを食べることが多いので、私の中で特別なものになっています。

そのお皿をモチーフにした女の子の妖怪を描きました。お皿のオレンジ色を基調とし、オムライスの色も使ってまとめました。ほっぺについた赤いケチャップがアクセントになっています。



作品タイトル： 手紙に宿るもの

《付喪神の元となった実物写真》



デザイン題材： 手紙

《そのものへの想いを込めたデザインコンセプト》

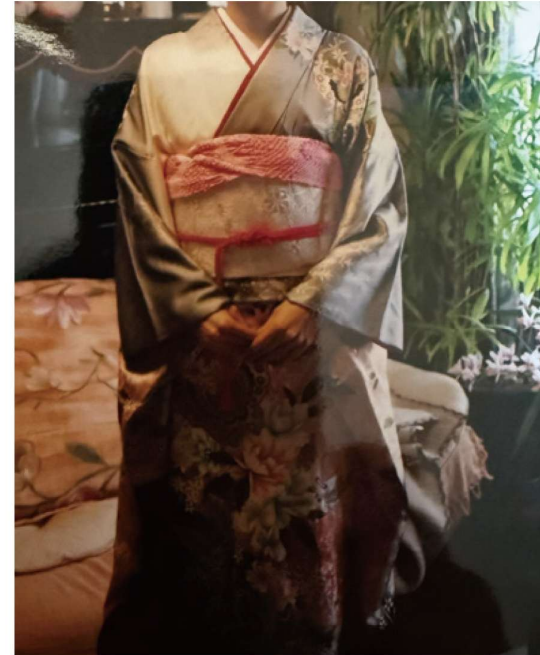
コンセプトは「手紙の付喪神が書いた手紙にイタズラをする」です。そのため、手紙の中からでている付喪神に鉛筆を持たせたり、笑っている表情にすることでイタズラして楽しんでいる感じを表現しているのと妖怪らしい笑い方にする事で妖怪らしさを表現している。

この付喪神は手紙に込められた想いから生まれたためただ手紙にイタズラをしているのではなく良かれと思って手伝っているつもりのような優しい付喪神です。



作品タイトル： 牡丹

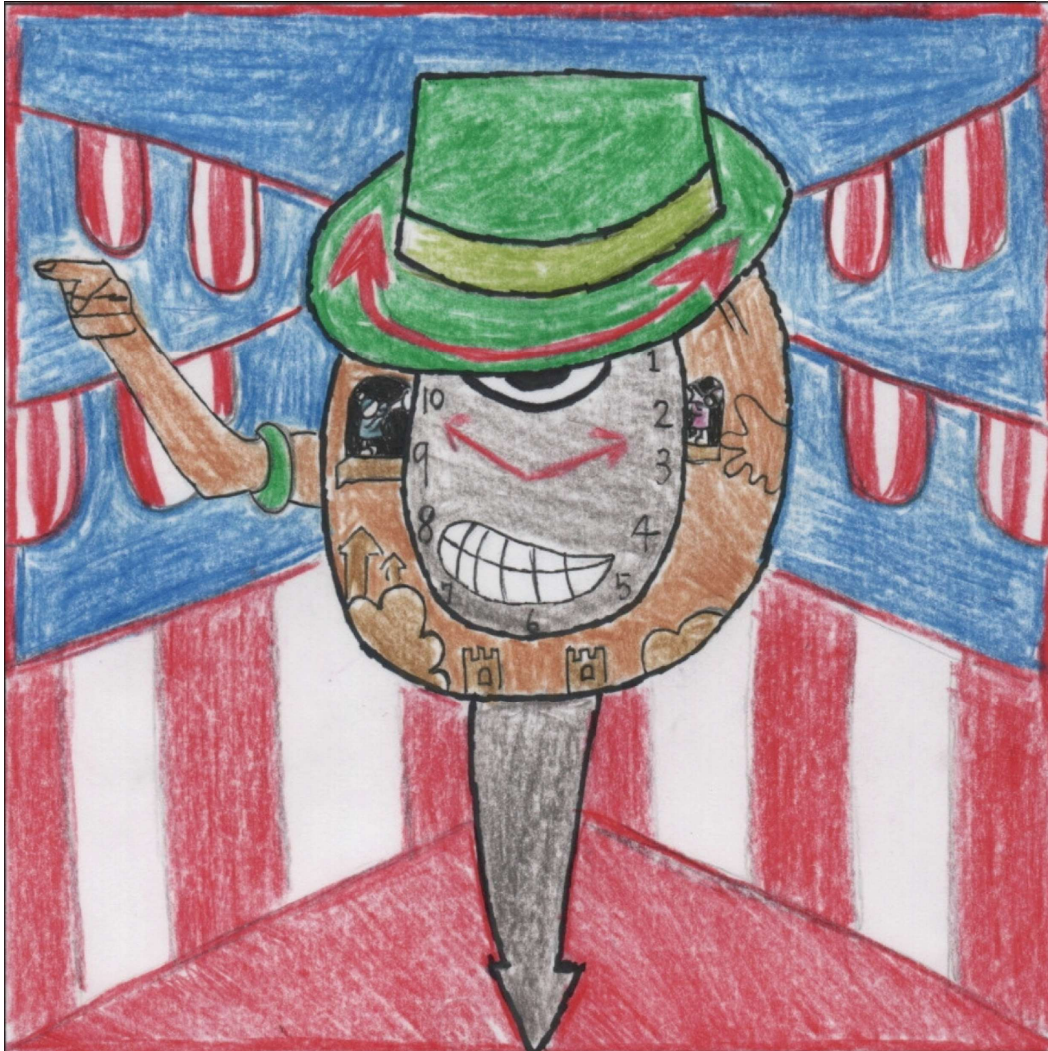
《付喪神の元となった実物写真》



デザイン題材： 振袖

《そのものへの想いを込めたデザインコンセプト》

白と灰の繚乱柄は、華やかさの中に静かな気品を持ち、季節や時代を越えて誰かの門出に寄り添ってきた衣装です。袖を通した人それぞれの思い出が重なり、ただの衣服ではなく「想いを記録する器」へと変化していきました。現在は母、従姉妹、そして私自身がこの振袖を受け継ぎ、身にまとっています。



作品タイトル：ダンスウォッチマン

《付喪神の元となった実物写真》



デザイン題材：掛け時計（音がなります）

《そのものへの想いを込めたデザインコンセプト》

このキャラクターのモチーフは、25年間動き続けている音の鳴る掛け時計です。

毎正時に音色を響かせながら、家族の日常や大切な思い出を見守り続けてきました。

長い年月の中で人々の想いを受け取り続けたことで魂が宿り、付喪神として姿を現した存在です。

時計としての力を持ち、音によって人々を導いたり、過去の記憶や思い出を呼び起こしたりすることができます。

また、25年間止まることなく時を刻み続けてきたことから、「時間の大切さ」を象徴する妖怪として設定しています。

デザインの思い

デザインは、近年再び注目を集めている Michael Jackson をイメージして制作しました。

ポーズには彼を象徴するシルエットを取り入れ、ひと目で音楽やダンスを連想できるようにしています。

また、代表作である Thriller ではゾンビたちが印象的なダンスを披露しているため、

その要素と日本の妖怪文化を掛け合わせました。付喪神という「長い年月を経て魂を宿した存在」と

、ゾンビのような「生と死の境界を感じさせる存在」には共通する不思議さがあると考え、

それらを融合させることで独自の世界観を表現しています。

さらに、掛け時計が奏でる音と音楽・ダンスという要素を組み合わせることで、

時間と音が一体となったキャラクターデザインを目指しました。



作品タイトル： 冷蔵子

《付喪神の元となった実物写真》



デザイン題材： 冷蔵庫

《そのものへの想いを込めたデザインコンセプト》

夜中冷蔵庫をこっそりのぞく瞬間がわくわくした
という感覚を思い出し、宝箱のような冷蔵庫を開けると
そこには飲み物を冷やしていた妖怪がいた。
というコンセプトです



作品タイトル： 白い女

《付喪神の元となった実物写真》



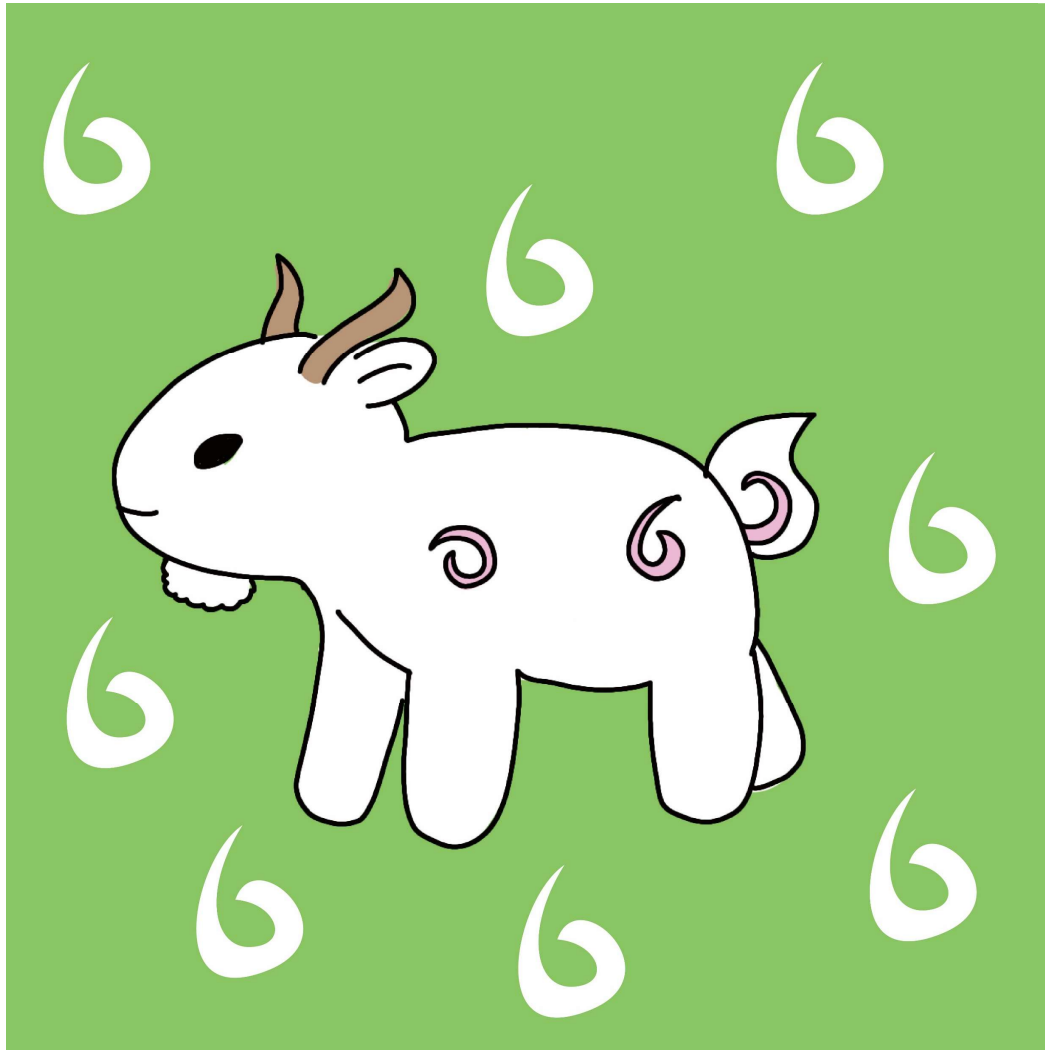
デザイン題材： 自室のレースカーテン

《そのものへの想いを込めたデザインコンセプト》

少し透けていて、風で少し揺らめいている。

三日月の夜に時々現れる。

夜空が綺麗で風が吹いている時が好き。



作品タイトル： 僕が守るよ

《付喪神の元となった実物写真》



デザイン題材： ヤギのぬいぐるみ

《そのものへの想いを込めたデザインコンセプト》

長年大切にしてきた羊のぬいぐるみが付喪神となった姿。

体の渦模様には持ち主との思い出や感情が宿っており、それらを力に変えて持ち主を見守る。
悪い夢や不安を吸い取り、安心して眠れるよう導く優しい守護の妖怪としてデザインしました。